

九州産オーガニック野菜デリバリーサービス「VEGERY」 農業法人「VEGERY FARM」を1月12日（金）設立 -農業のシェアリングエコノミーなど新たな仕組みを構築-

九州産のオーガニック野菜を中心とした生鮮食品のデリバリーサービス「VEGERY」を運営している株式会社ベジオベジコ（本社：宮崎県東諸県郡綾町、代表取締役：平林聡一郎、以下「ベジオベジコ」）は、1月12日（金）、農業が直面している課題に取り組むべく、新たな農業法人「VEGERY FARM」を設立致しました。



VEGERY FARM

ベジオベジコは、これまで直接契約農家で野菜を仕入れ、配送までワンストップで行うことで、流通コストを従来の3分の1に抑えるなど「儲かる農家」の仕組みを構築してきました。しかし、高齢化による農業の担い手不足や、異常気象による収穫の不安定さ、作り手側の技術や想いではなく、市場動向で価格が決まる現状など、まだまだ農業には課題が残っています。このような農業の現状を少しでも改善できる仕組みを作るべく、新たに農業法人「VEGERY FARM」を設立することとなりました。

まず第一弾として、2018年1月より宮崎県綾町の農地を借りて、野菜の自社栽培を開始しました。自社栽培により、野菜の金額や栽培方法を自ら管理することで、野菜の価値の最適化を目指します。その他にも、耕作放棄地や遊休地を利用した地域課題の解決や、若手農家を雇用し農業従事者の育成にも取り組み、2020年までに借用農地を現在の4倍に拡大し、日本全国に安定した「VEGERY FARM」の野菜の出荷を目指します。

【「VEGERY FARM」基幹サービス】

①DtoC サービス

既存の流通では、収穫されてから消費者の手元に届くまで平均3日以上の日数と中間手数料がかかります。VEGERY FARMの流通システムでは、自社栽培することで、収穫からお届けまでの日数を少なく、中間手数料も掛からない方法でのお届けが可能となります。

②農業のシェアリングエコノミー

農家さんに給与をお支払し、かつ耕作放棄地等を使って生産をすることで、農業での「場所」と「時間」のシェアリングエコノミーを実現しました。

③フードロス対策

VEGERYからのオーダーに合わせて野菜を生産し、需要に合わせて無駄なく供給することで、生産現場からもフードロスをなくす仕組みを作りました。また、自社生産した野菜や契約農家の方の青果の中で規格外のものを使用して「VEGERY」オリジナルの加工品を作り、生産したものを無駄なく利用、販売できる仕組みを構築します。

○既存の流通○



収穫から消費者の手元に届くまでに3日間以上の日数と各所の手数料がかかる。農家さんの手取りは少なく、鮮度的にも良くない流通。

○他社の既存のBtoC流通○



収穫から消費者の手元に届くまでの時間は早いですが、注文から1週間程度かかる。各産地からの配送料も野菜代に加算される。

○VEGERYとVEGERY FARMの流通○



収穫された野菜は最短2日後にはVEGERYにアップされ、その日には消費者の手元に届きます。自社で栽培することで、質の高い野菜を需要に合わせて無駄なく供給することができます。余分な中間手数料はないため、一般的には高値で取引されるオーガニックな野菜もより買いやすい価格帯で販売が可能に。VEGERYを通すことで農作物のDtoCが1番シンプルに、実現できます。

■ VEGERY

「VEGERY」は九州産のオーガニック野菜・果物を中心とした生鮮食品のデリバリーサービス。直接契約農家から仕入れしているため、流通コストを抑え、新鮮な状態で販売しています。専用アプリをダウンロードすれば、わずか3タップで購入可能。また、都内特定8区域であれば、最短1時間以内で商品をデリバリーします。特定地域以外では、翌日～翌々日で配送いたします。

iOS ダウンロード URL : <https://goo.gl/fZ8axP>

Android ダウンロード URL : <https://goo.gl/mvZuwN>

■ 「VEGERY FARM」 会社概要

社名 : 株式会社ベジリーファーム

設立 : 2018年1月

所在地 : 宮崎県東諸県郡綾町大字北俣 2-7

代表者 : 代表取締役 田村 健登